【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成19年8月9日(2007.8.9)

【公開番号】特開2005-58674(P2005-58674A)
【公開日】平成17年3月10日(2005.3.10)
【年通号数】公開・登録公報2005-010
【出願番号】特願2003-296478(P2003-296478)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｃ
Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ａ
Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成19年6月26日(2007.6.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技球が打ち出される遊技領域を有する遊技盤と、前記遊技盤が内側に取り付けられる枠状の支持部材と、前記支持部材が交換可能に取り付けられる枠状の本体基部とを備え、前記支持部材は、その下部を支点にして上部を前記本体基部に向けて回転させた後に前記本体基部に固定される弾球遊技機において、
前記本体基部に設けられ、前記支持部材の上部を所定位置まで押圧する押し出し部材と、
前記押出部材に係止可能な形状で、かつ前記支持部材の上部に取り付けられた取っ手とを備え、
前記支持部材と前記本体基部との固定を解除し、前記支持部材の上部がその下部を支点にして前記本体基部の前方に押し出された場合に、前記取っ手が前記押出部材により保持されることを特徴とする弾球遊技機。
【請求項２】
前記支持部材と前記本体基部との固定を解除したときに、前記本体基部の前方に変位する押出部材を前記所定位置まで変位させることによって、前記取っ手を把持することが可能となるように前記支持部材を押し出す押出装置を前記本体基部に設け、前記取っ手は前記所定位置まで変位した前記押出部材と係止し、前記支持部材を所定位置で保持することを特徴とする請求項１記載の弾球遊技機。
【請求項３】
前記押出部材を板状に形成するとともに、前記押出部材にその前端が上方に突出した押圧部を設け、
前記取っ手を略コの字形状に形成するとともに、その両脚が前記押出部材を左右方向で跨ぎ、かつ上下方向で変位自在となるように前記支持部材に取り付け、
前記押圧部の前面で前記支持部材を押圧した場合に、前記取っ手は前記押圧部の背面に係止するとともに、この係止状態から上方に引き出されて把持されることを特徴とする請求項１又は２記載の弾球遊技機。
【請求項４】

前記支持部材の下部を前記本体基部に係合させる係合部を、前記本体基部及び前記支持部材の少なくともいずれか一方に設けるとともに、前記本体基部に前記支持部材を固定する固定位置と、前記本体基部と前記支持部材との固定を解除する固定解除位置との間で変位する可動部材を備えた固定装置を、前記本体基部及び前記支持部材の少なくともいずれか一方の前記係合部と異なる端部に設けたことを特徴とする請求項１～３のいずれかに記載の弾球遊技機。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】

上記目的を達成するために、本発明の弾球遊技機は、遊技球が打ち出される遊技領域を有する遊技盤と、前記遊技盤が内側に取り付けられる枠状の支持部材と、前記支持部材が交換可能に取り付けられる枠状の本体基部とを備え、前記支持部材は、その下部を支点にして上部を前記本体基部に向けて回転させた後に前記本体基部に固定される弾球遊技機において、前記本体基部に設けられ、前記支持部材の上部を所定位置まで押圧する押し出し部材と、前記押出部材に係止可能な形状で、かつ前記支持部材の上部に取り付けられた取っ手とを備え、前記支持部材と前記本体基部との固定を解除し、前記支持部材の上部がその下部を支点にして前記本体基部の前方に押し出された場合に、前記取っ手が前記押出部材により保持されるものである。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】

なお、前記支持部材と前記本体基部との固定を解除したときに、前記本体基部の前方に変位する押出部材を前記所定位置まで変位させることによって、前記取っ手を把持することが可能となるように前記支持部材を押し出す押出装置を前記本体基部に設け、前記取っ手は前記所定位置まで変位した前記押出部材と係止し、前記支持部材を所定位置で保持することが好ましい。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】

また、前記押出部材を板状に形成するとともに、前記押出部材にその前端が上方に突出した押圧部を設け、前記取っ手を略コの字形状に形成するとともに、その両脚が前記押出部材を左右方向で跨ぎ、かつ上下方向で変位自在となるように前記支持部材に取り付け、前記押圧部の前面で前記支持部材を押圧した場合に、前記取っ手は前記押圧部の背面に係止するとともに、この係止状態から上方に引き出されて把持されることが好ましい。

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】

また、前記支持部材の下部を前記本体基部に係合させる係合部を、前記本体基部及び前

記支持部材の少なくともいずれか一方に設けるとともに、前記本体基部に前記支持部材を固定する固定位置と、前記本体基部と前記支持部材との固定を解除する固定解除位置との間で変位する可動部材を備えた固定装置を、前記本体基部及び前記支持部材の少なくともいずれか一方の前記係合部と異なる端部に設けることが好ましい。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
以上のように、請求項１記載の弾球遊技機では、支持部材を容易に保持することが可能になり、支持部材の本体基部からの取り外し、支持部材の本体基部への取り付け、支持部材の持ち運びなど、支持部材を交換する際の作業を安全かつ作業良く行うことができる。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
また、請求項２記載の弾球遊技機では、支持部材を本体基部から取り外す際に、支持部材を引き出す必要がなくなり、支持部材を交換する際の作業を効率良く行うことができる。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
また、請求項３記載の弾球遊技機では、取っ手を把持するときに取っ手を変位させれば取っ手を把持しやすくなり、支持部材を交換する際の作業を効率良く行うことができる。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
また、請求項４記載の弾球遊技機では、支持部材を本体基部に対して位置決めすることが可能になり、支持部材を交換する際の作業を効率良く行うことができる。